

工事名：庄川・大門護岸その7工事

受注者：松本建設株式会社

場 所：射水市土合地先

工 期：令和3年5月25日 ～ 令和4年2月28日

進捗率 45% (12月1日時点)

#### 現場紹介

この工事は急流河川対策として洪水時の強大なエネルギーに対し洗堀、浸食に対する堤防の安全性を確保するための低水護岸を造成します。低水護岸延長は、L=60mあり、護岸の基礎部からの破壊を防止するための根固めブロックを製作から設置まで行う工事です。

11月末で掘削、仮締切、二次製品設置の施工が完了して、現在は、練石張の施工を行っております。来月中旬頃より根固めブロックの施工を行う予定にしております。

【着事前・令和3年12月時点の施工状況など】写真は2枚から4枚程度



11月末にて掘削、仮締切、二次製品設置が完了して現在は練石張の施工を行っておりますが、下段部の掘削中及び法留基礎5型の施工時は法尻部の仮土留め設置や暗渠排水管設置を行う等、施工箇所からの湧水が多数あり湧水対策・処理に大変苦勞しました。

また、当工事の河川土工（ICT土工）においては、ICT活用がもたらす生産性革命として「i-Construction現場特集2022」に協賛して日刊建設通信新聞に掲載される予定です。

12月に入り寒さも増し、作業の際は普段以上に安全管理・健康管理には注意を払い、無事故・無災害で工事を進めていきます。

11月より隣接する庄川・大門護岸その8他工事も発注され、連絡調整を密に行いながら工事を進めていきます。